

承認番号	
研究課題名	上部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)における穿孔の対処法の検討
研究の意義・目的	表在型食道癌および早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は、手技の確立やデバイスの開発などにより、治療成績は向上し、広く普及しています。ESDの偶発症のひとつである消化管穿孔に対してはクリップによる縫縮で対処することが多いですが、大きな穿孔や線維化を伴う症例では難渋することもあり、緊急外科手術が必要となる場合があります。今回、ESDにおける穿孔への対処法とその効果について明らかにし、今後の内視鏡治療の発展に貢献できるものと考えます。
研究期間	承認後～2025年3月31日
研究対象者の範囲	2004年2月1日～2018年12月31日までの間に、大阪市立大学医学部附属病院で表在型食道癌および早期胃癌に対してESDを施行された患者さんが対象となります。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 病院講師 大南 雅揮
代表施設のURL	該当なし
研究成果を公表する方法	研究結果を国内外の消化器領域を中心とした医学学術雑誌や学会にて公表します。その際、個人情報は公表しません。
試料・情報の提供方法	該当なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 教授 藤原 靖弘
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	研究責任者 大南 雅揮 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話 06-6645-3811 FAX 06-6645-3813 E-mail komesoudoh@yahoo.co.jp